

全国中小企業動向調査結果

(2024年1-3月期実績、4-6月期以降見通し)

小企業の景況

(原則従業員20人未満)

小企業の景況は、持ち直しの動きに足踏みがみられる

(前回)持ち直しの動きがみられる

- 業況判断DIは、前期からマイナス幅が拡大し、▲23.8となった。
来期はマイナス幅が縮小する見通し。 ← 5ページ
- 売上DIは、前期からマイナス幅が拡大し、▲7.0となった。
来期はマイナス幅が縮小する見通し。 ← 10ページ
- 採算DIは、前期からマイナス幅が拡大し、▲17.6となった。
来期はマイナス幅が縮小する見通し。 ← 11ページ

■ 主要DI(カッコ内は前回調査からの変動幅)

業況判断DI	売上DI	採算DI	資金繰りDI	借入DI
▲23.8 (-6.2)	▲7.0 (-4.6)	▲17.6 (-6.8)	▲24.0 (-4.6)	▲16.2 (+0.1)

中小企業の景況

(原則従業員20人以上)

中小企業の景況は、持ち直しの動きがみられる

(前回)持ち直しの動きがみられる

- 業況判断DIは、前期から上昇し、7.6となった。
来期は低下、来々期は上昇する見通し。 ← 17ページ
- 売上DIは、前期からほぼ横ばいの13.5となった。
来期以降は上昇する見通し。 ← 20ページ
- 純益率DIは、前期からマイナス幅が縮小し、▲1.6となった。
来期はほぼ横ばい、来々期は上昇する見通し。 ← 21ページ

業況判断DI	売上DI	純益率DI	資金繰りDI	長期借入難易DI
7.6 (+2.2)	13.5 (-0.4)	▲1.6 (+3.2)	2.4 (+1.6)	5.4 (+0.4)

<お問い合わせ先>

日本政策金融公庫 総合研究所 小企業研究第二グループ Tel:03-3270-1691(担当:青野、葛貴)
中小企業研究第一グループ Tel:03-3270-1703(担当:白石、立澤)
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-9-4 大手町フィナンシャルシティ ノースタワー

※資料編につきましては、[こちら](#)をご覧ください。

目次

調査結果の概要	1
---------	---

【小企業編】

概況	3
調査の実施要領	4
業況判断	5
売上	10
採算	11
資金繰り、借入	12
経営上の問題点	13
設備投資、価格動向	14

【中小企業編】

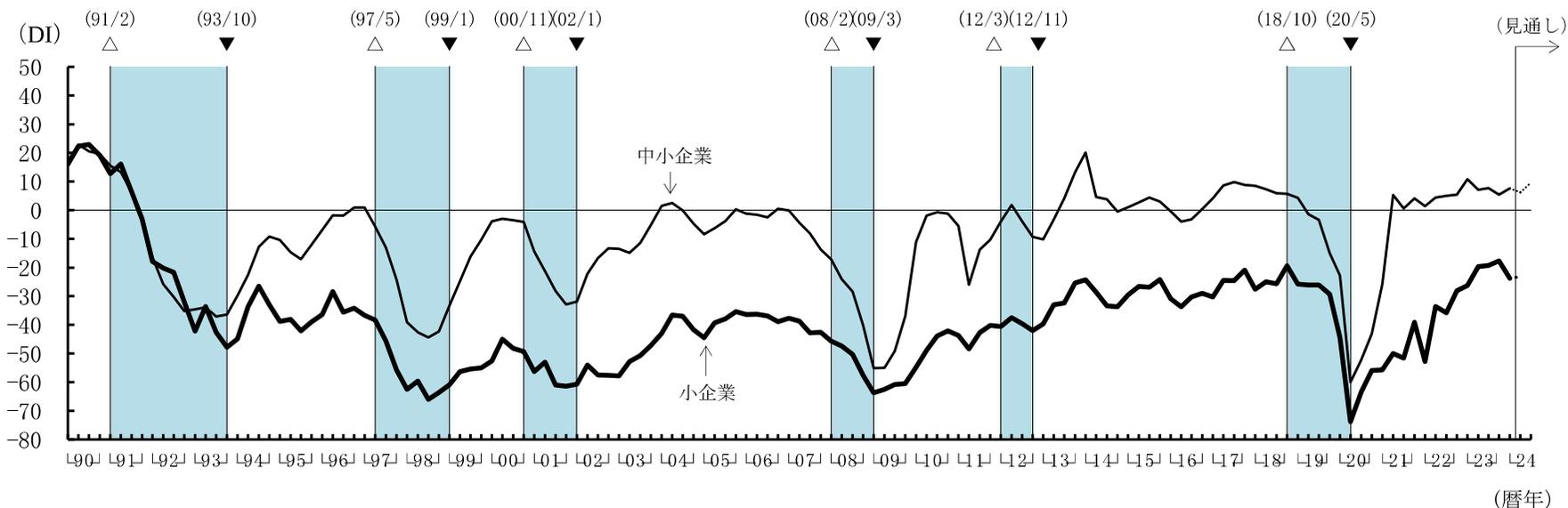
概況	15
調査の実施要領	16
業況判断	17
売上	20
利益	21
価格、金融関連	22
雇用、設備	23
経営上の問題点	24

調査結果の概要

1 業況判断DIの推移

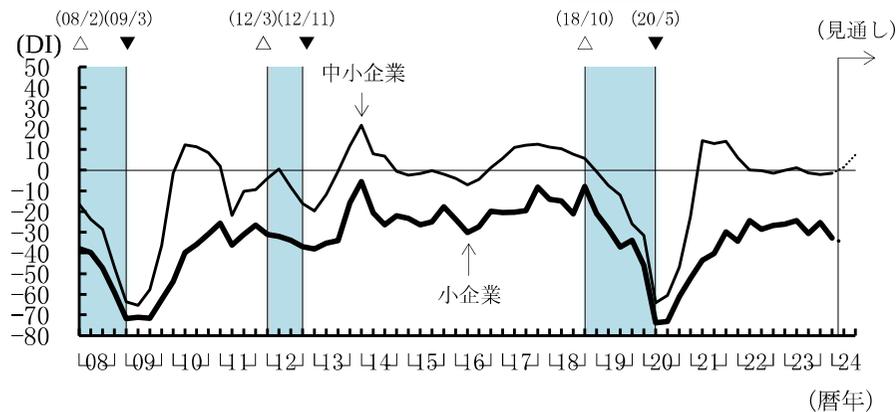
①全業種計

	22.1-3	22.4-6	22.7-9	22.10-12	23.1-3	23.4-6	23.7-9	23.10-12	24.1-3	24.4-6	24.7-9
中小企業	1.4	4.4	5.0	5.4	10.8	7.1	7.7	5.4	7.6	見通し	見通し
小企業	▲52.8	▲33.6	▲35.8	▲28.0	▲26.3	▲19.7	▲19.2	▲17.6	▲23.8	▲23.2	-



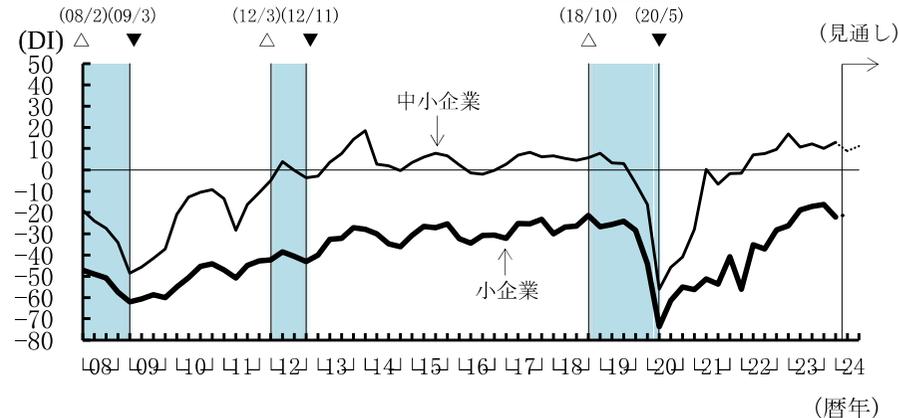
②製造業

	23.7-9	23.10-12	24.1-3	24.4-6	24.7-9
中小企業	▲1.3	▲2.2	▲1.5	見通し	見通し
小企業	▲30.6	▲25.3	▲32.8	▲35.3	-



③非製造業

	23.7-9	23.10-12	24.1-3	24.4-6	24.7-9
中小企業	12.2	10.0	12.9	見通し	見通し
小企業	▲17.2	▲16.3	▲22.1	▲20.9	-

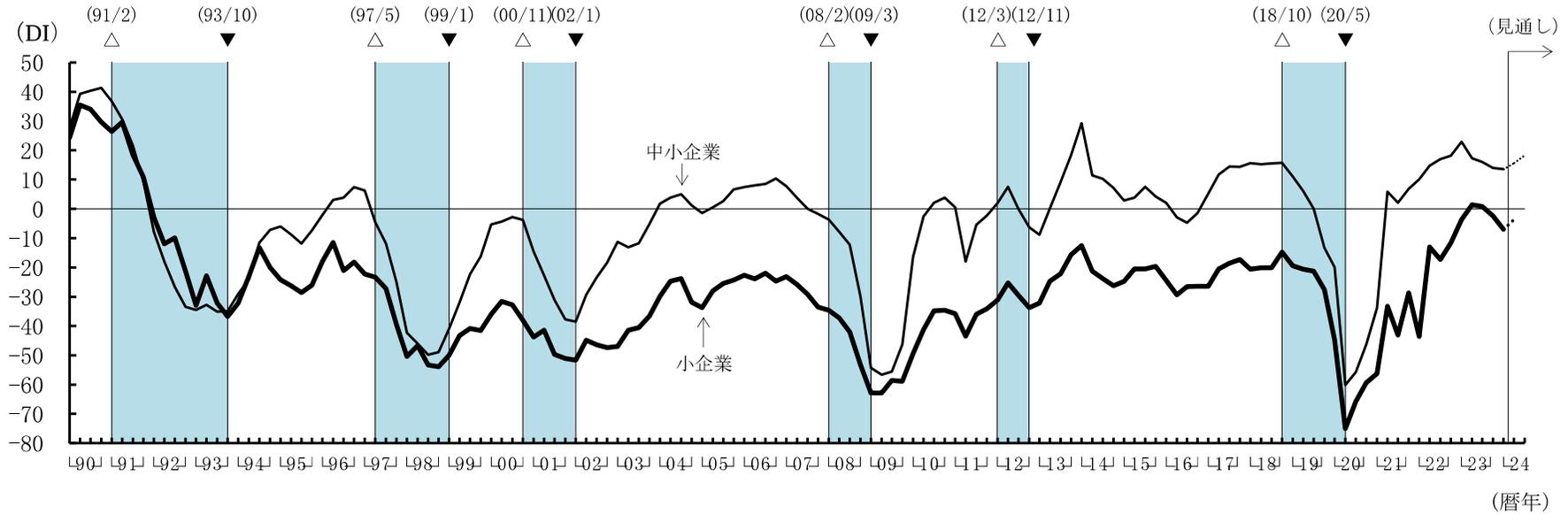


- (注) 1 小企業のDIは、調査対象企業の業況が「良い」と回答した企業割合から「悪い」と回答した企業割合を差し引いた値。
 2 中小企業のDIは、調査対象企業の業況が前年同期比で「好転」と回答した企業割合から「悪化」と回答した企業割合を差し引いた値(季節調整済)。
 3 △は景気の山、▼は景気の谷、シャド一部分は景気後退期を示す(以下同じ)。

2 売上DIの推移

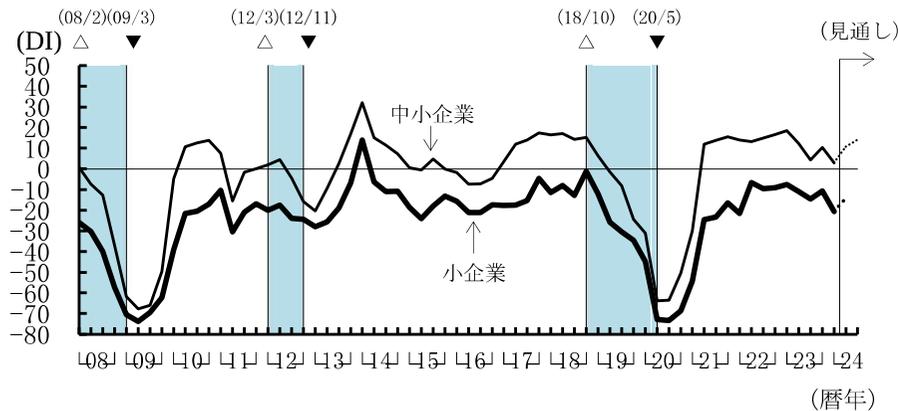
①全業種計

	22.1-3	22.4-6	22.7-9	22.10-12	23.1-3	23.4-6	23.7-9	23.10-12	24.1-3	24.4-6	24.7-9
中小企業	10.1	14.7	16.9	18.2	23.0	17.2	15.9	13.9	13.5	見通し	見通し
小企業	▲43.6	▲13.0	▲17.3	▲11.6	▲3.6	1.4	0.8	▲2.4	▲7.0	▲3.5	-



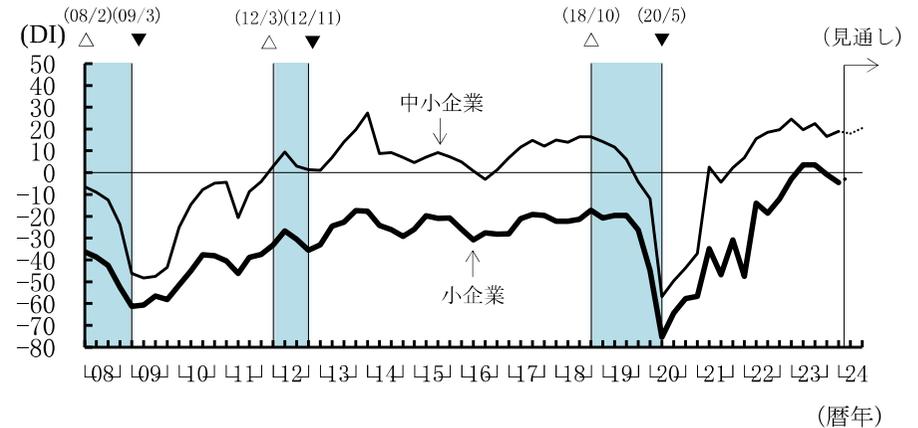
②製造業

	23.7-9	23.10-12	24.1-3	24.4-6	24.7-9
中小企業	4.2	10.3	2.9	見通し	見通し
小企業	▲14.6	▲10.6	▲20.7	▲14.3	-



③非製造業

	23.7-9	23.10-12	24.1-3	24.4-6	24.7-9
中小企業	22.5	16.5	18.9	見通し	見通し
小企業	3.5	▲0.9	▲4.6	▲1.6	-



- (注) 1 小企業のDIは、前年同期比で「増加」と回答した企業割合から「減少」と回答した企業割合を差し引いた値。
 2 中小企業のDIは、前年同期比で「増加」と回答した企業割合から「減少」と回答した企業割合を差し引いた値（季節調整済）。

小 企 業 編

(2024年1-3月期実績、4-6月期見通し)

小企業の景況は、持ち直しの動きに足踏みがみられる

[調査の実施要領]

調査時点 2024年3月中旬
 調査対象 当公庫取引先 10,000 企業
 有効回答数 5,832 企業 [回答率 58.3 %]

<業種構成>

		調査対象	有効回答数	
製造業	(従業員20人未満)	1,500 企業	900 企業	(構成比 15.4 %)
卸売業	(同 10人未満)	800 企業	588 企業	(同 10.1 %)
小売業	(同 10人未満)	2,450 企業	1,320 企業	(同 22.6 %)
飲食店・宿泊業	(同 10人未満)	1,800 企業	887 企業	(同 15.2 %)
サービス業	(同 20人未満)	2,000 企業	1,209 企業	(同 20.7 %)
情報通信業	(同 20人未満)	160 企業	66 企業	(同 1.1 %)
建設業	(同 20人未満)	1,100 企業	729 企業	(同 12.5 %)
運輸業	(同 20人未満)	190 企業	133 企業	(同 2.3 %)

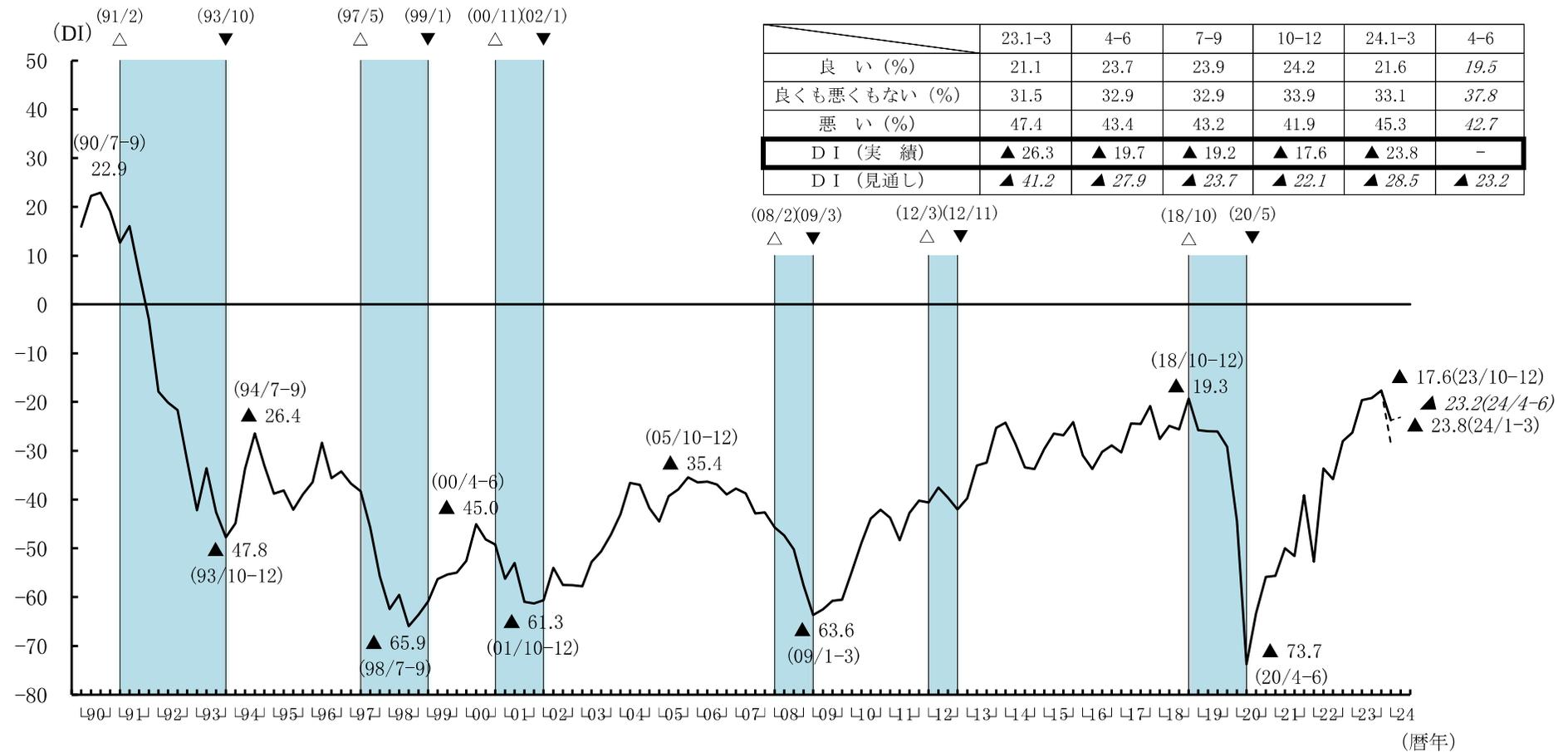
(参考)

法人 3,891 企業 (構成比 66.7 %)
 個人 1,941 企業 (同 33.3 %)

1 業況判断

- 今期の業況判断DI（全業種計）は、前期（2023年10-12月期）からマイナス幅が6.2ポイント拡大し、▲23.8となった。
- 来期は、マイナス幅が縮小し、▲23.2となる見通しである。

図-1 業況判断DIの推移（全業種計）

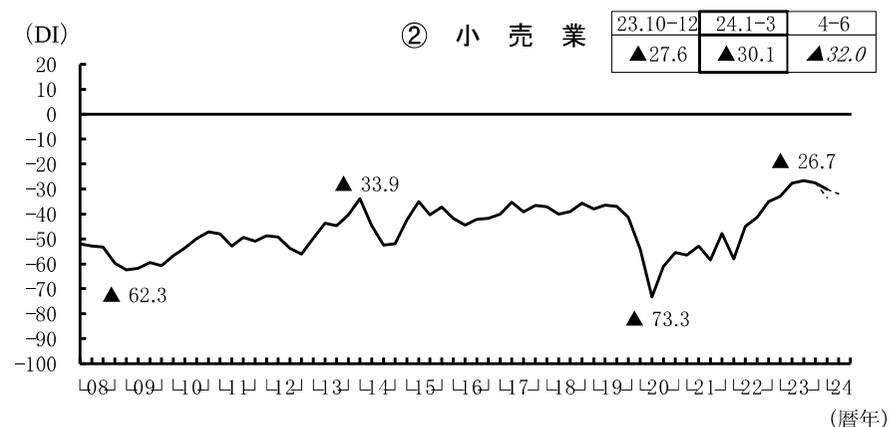
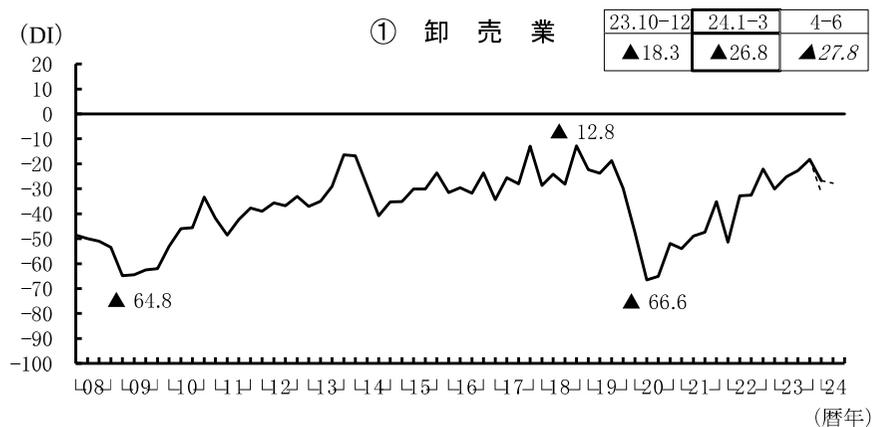
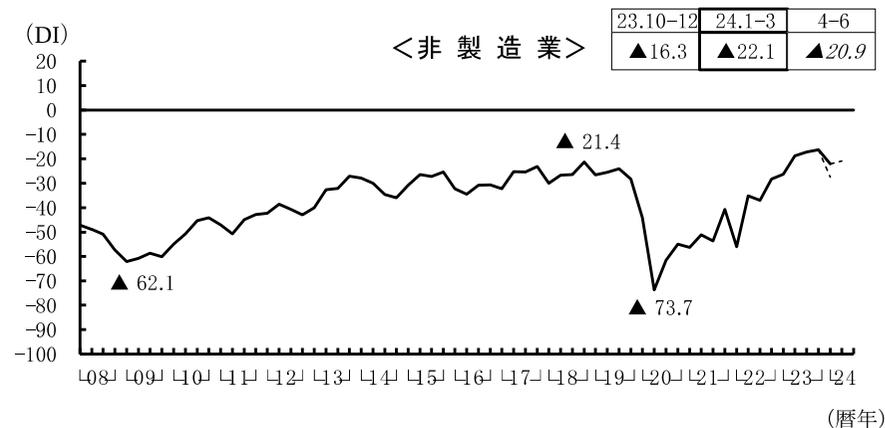
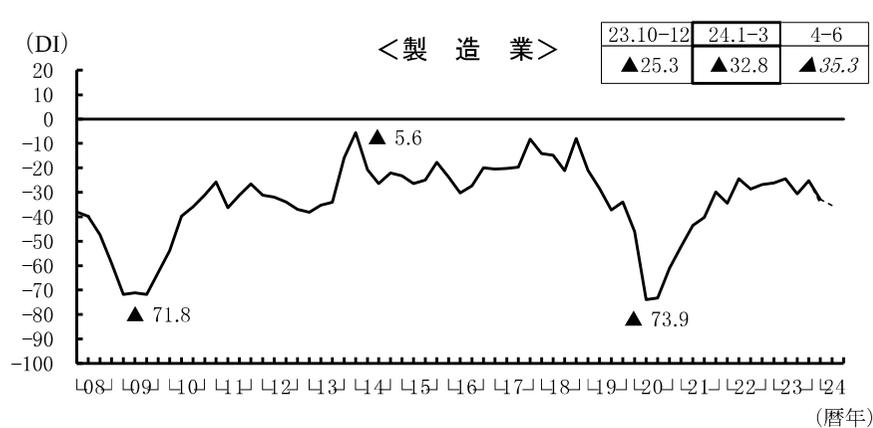


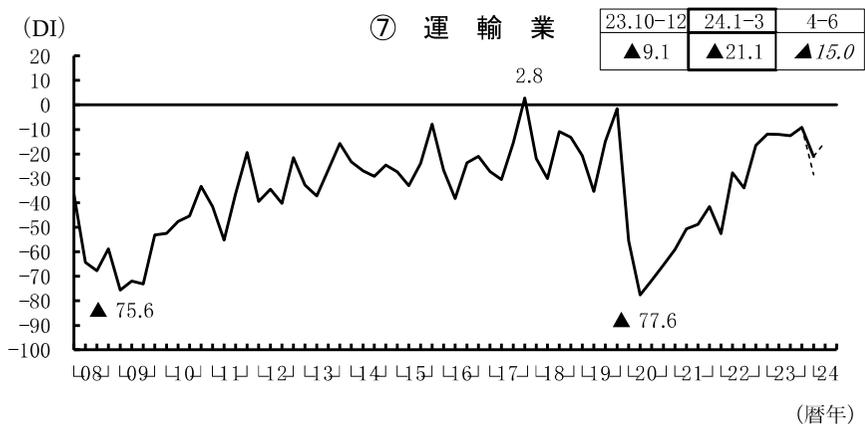
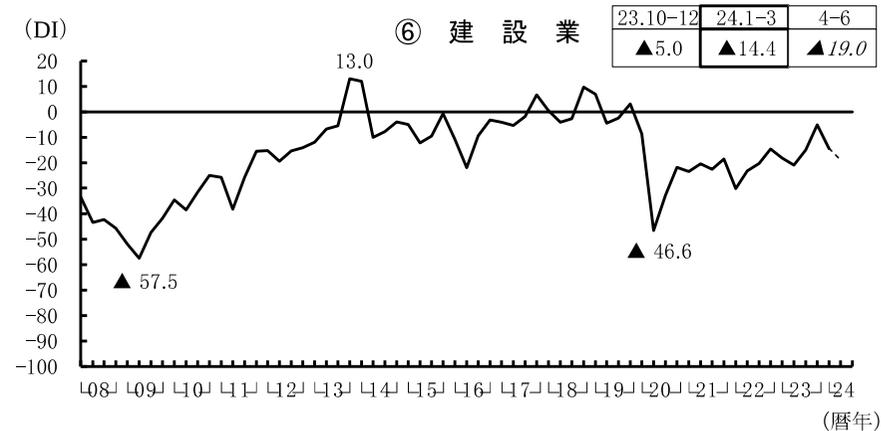
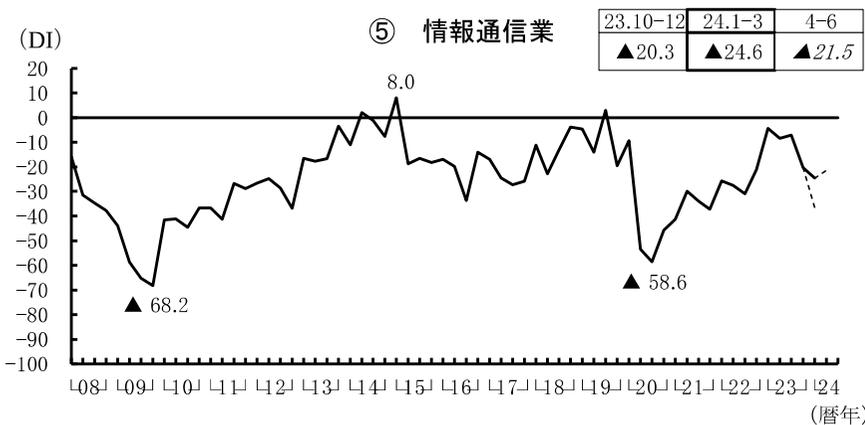
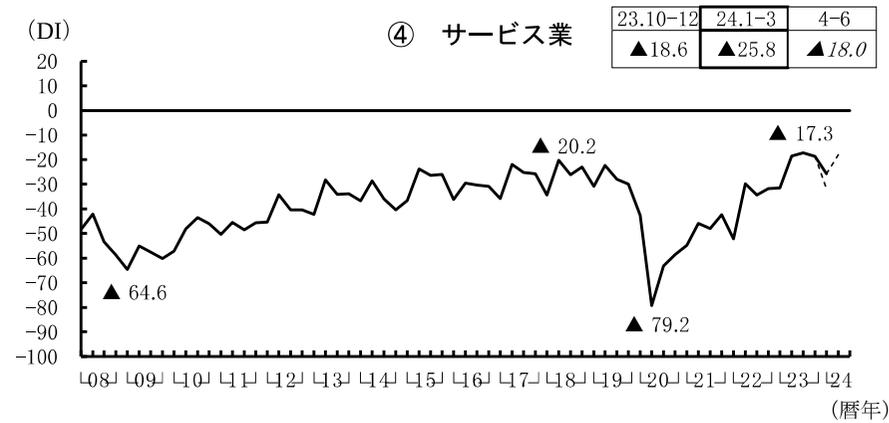
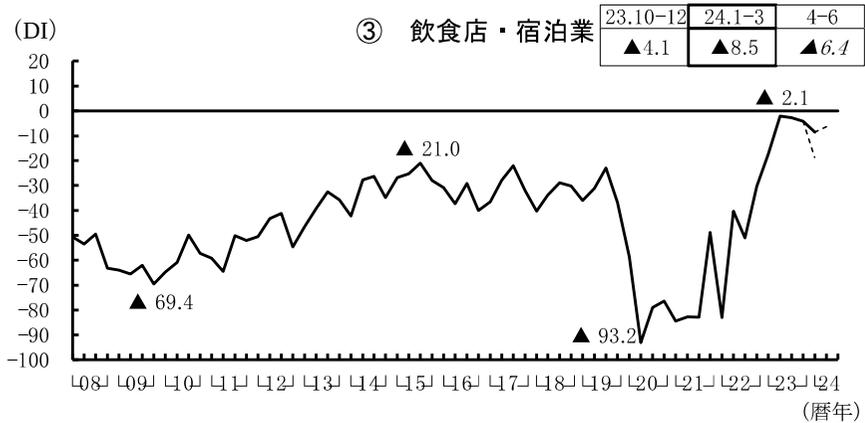
(注) 1 DIは、調査対象企業の業況が「良い」と回答した企業割合から「悪い」と回答した企業割合を差し引いた値。
 2 ——— は実績、----- は見通し。斜体は見通しの値を示している。

○ 業況判断DIを業種別にみると、製造業（▲32.8）、非製造業（▲22.1）ともにマイナス幅が拡大した。非製造業を構成する大分類業種のうち、すべての業種でマイナス幅が拡大した。

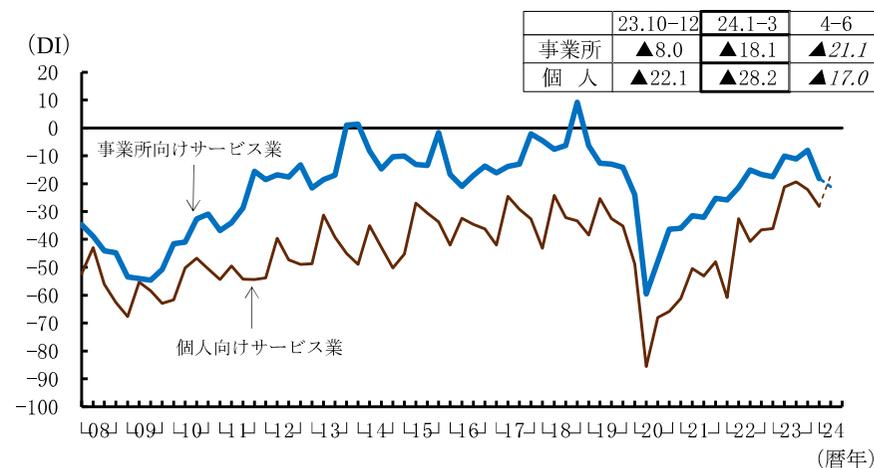
○ 来期は、製造業ではマイナス幅が拡大する一方、非製造業ではマイナス幅が縮小する見通しである。

図－２ 業種別業況判断DIの推移



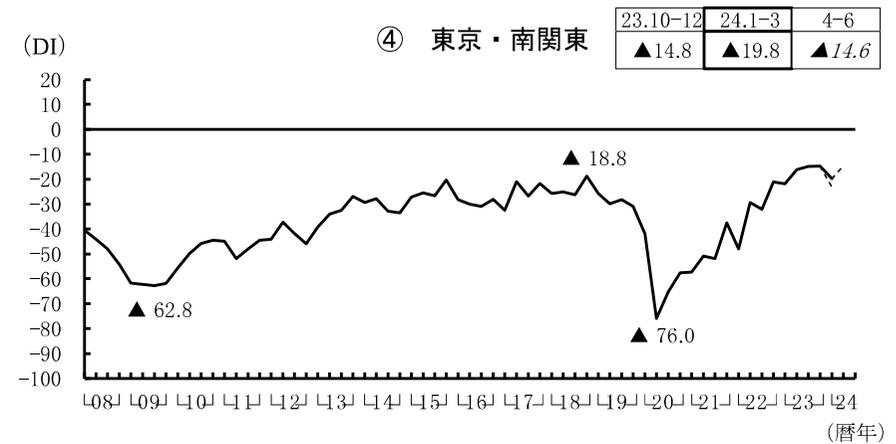
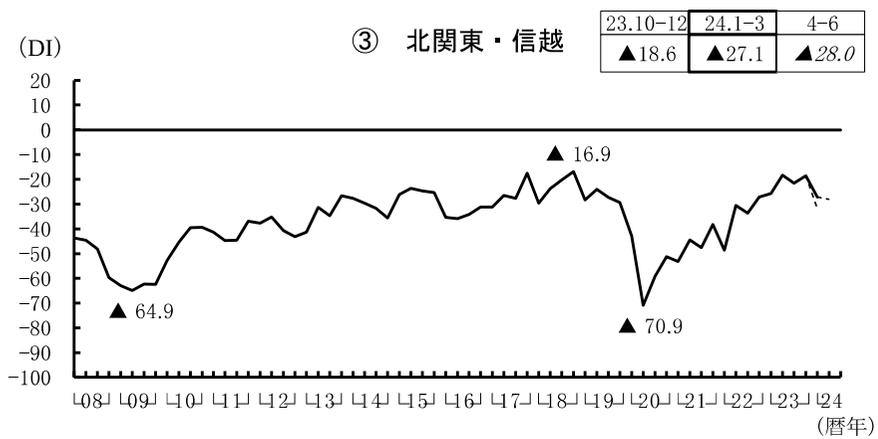
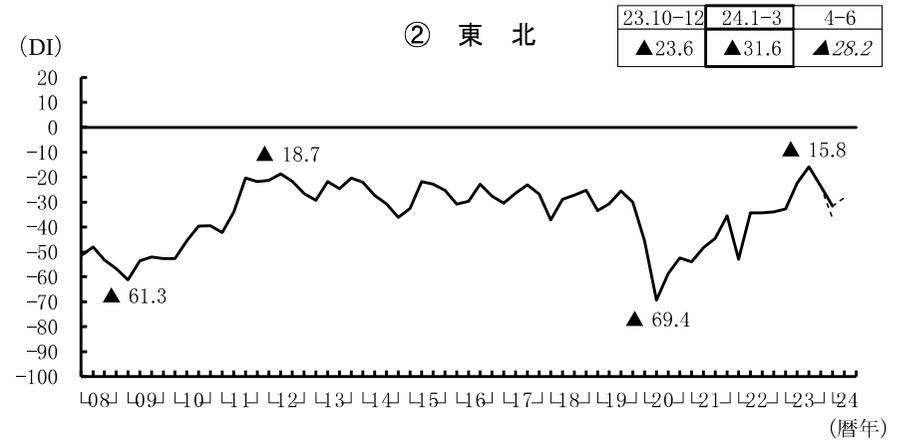
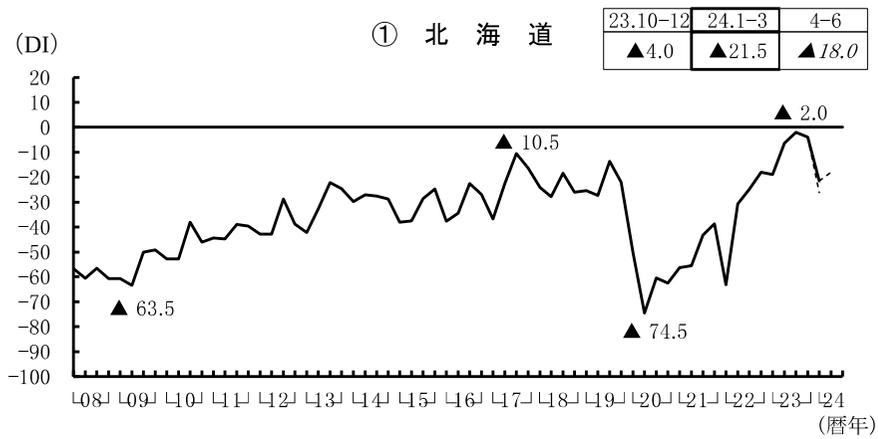


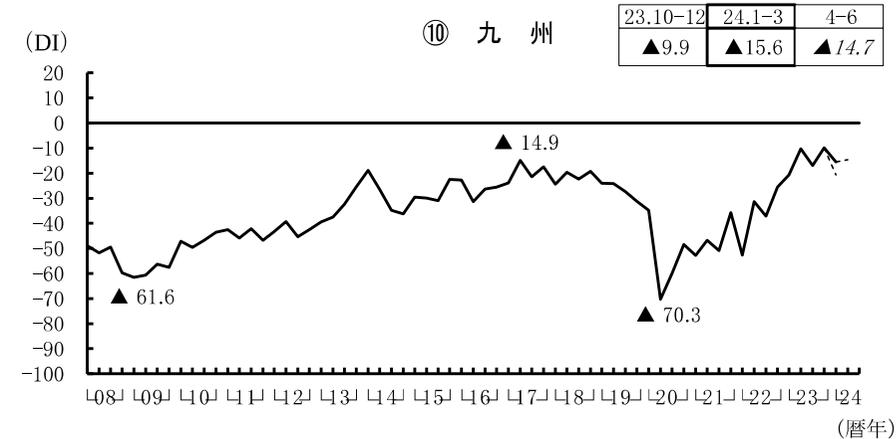
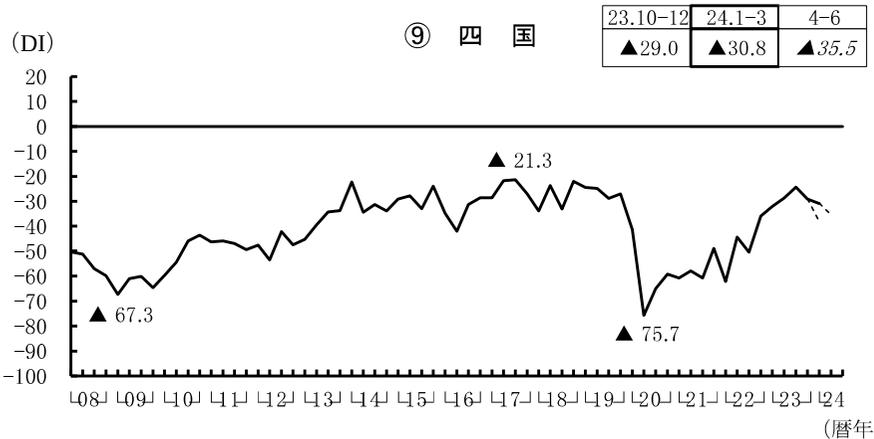
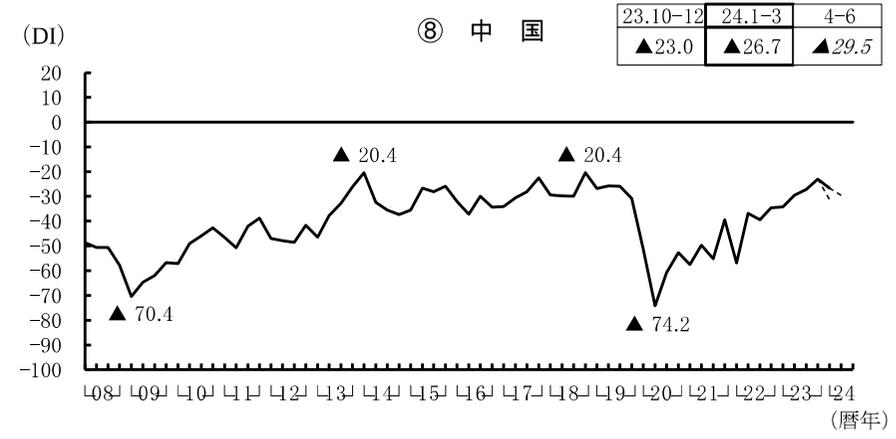
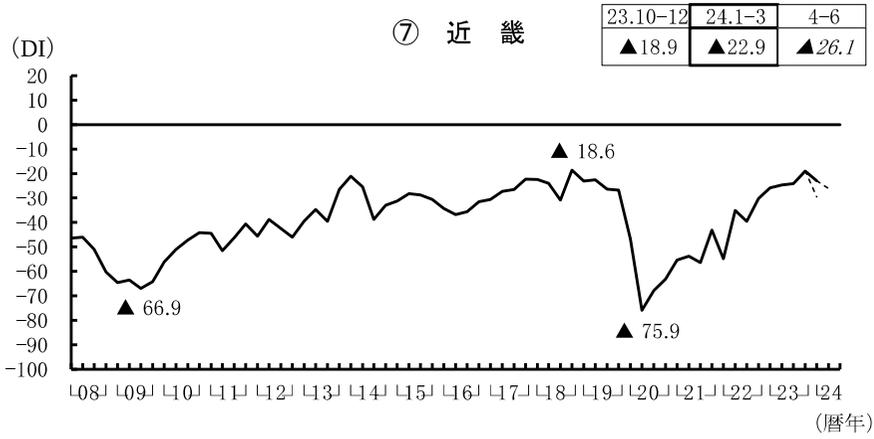
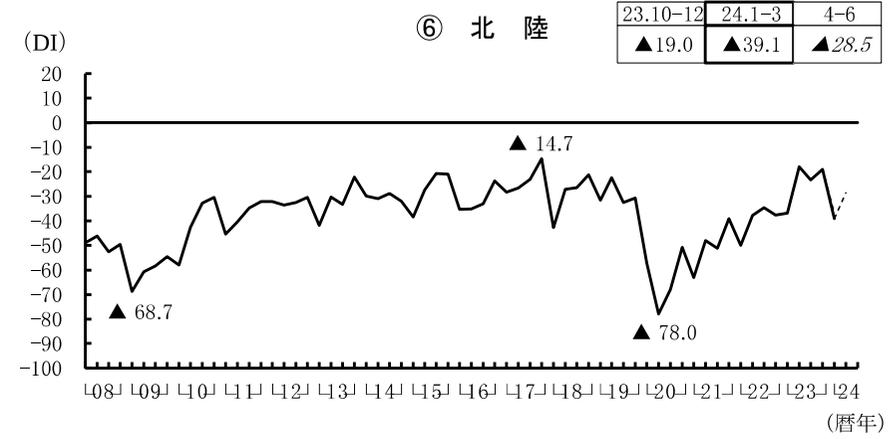
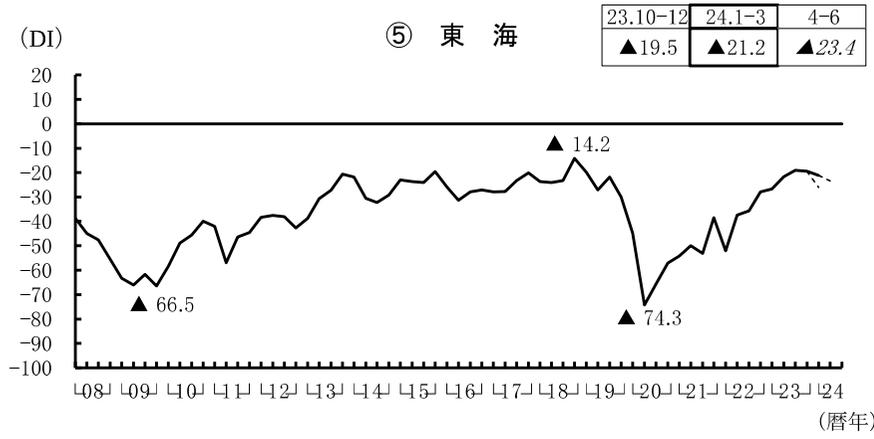
(参考) 個人向けサービス業と事業所向けサービス業の業況判断DIの推移



- 業況判断DIを地域別にみると、すべての地域でマイナス幅が拡大した。
- 来期は、北海道と東北、東京・南関東、北陸、九州でマイナス幅が縮小する見通しである。

図－３ 地域別業況判断DIの推移

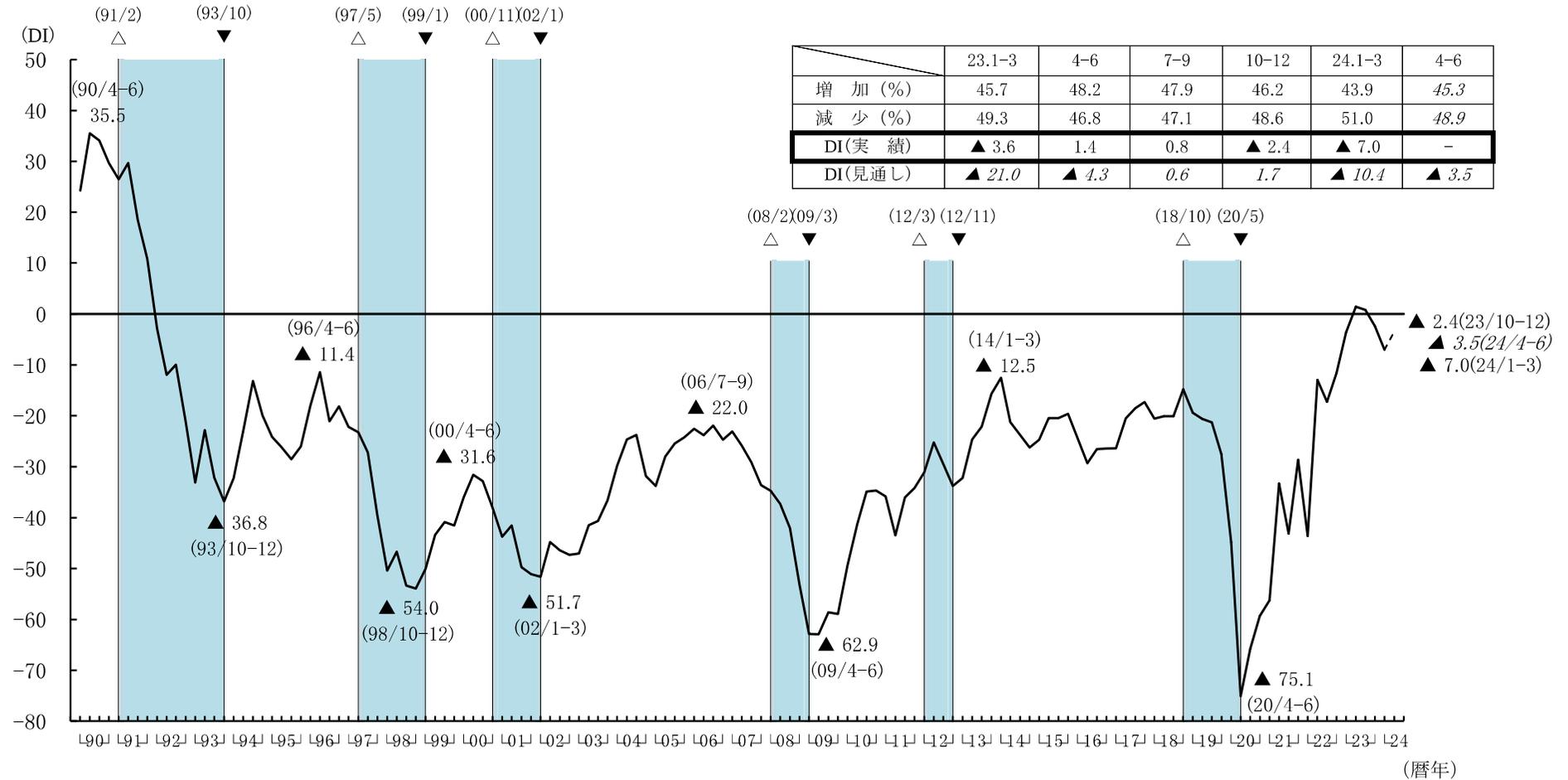




2 売上

- 今期の売上DI(全業種計)は、前期からマイナス幅が4.6ポイント拡大し、▲7.0となった。
- 来期は、マイナス幅が縮小する見通しである。

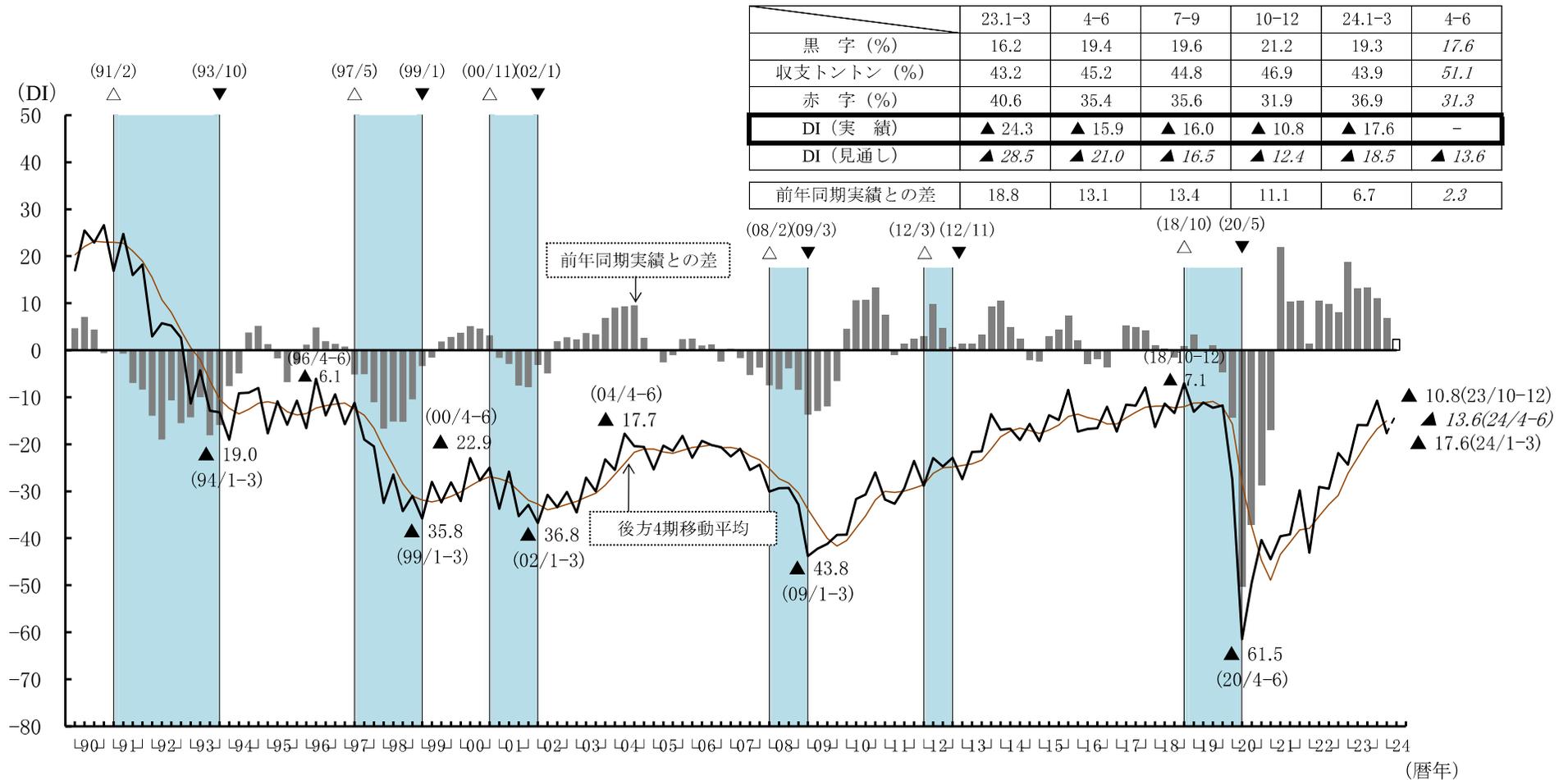
図-4 売上DIの推移 (全業種計)



3 採算

- 今期の採算DI(全業種計)は、前期からマイナス幅が6.8ポイント拡大し、▲17.6となった。
- 来期は、マイナス幅が縮小する見通しである。

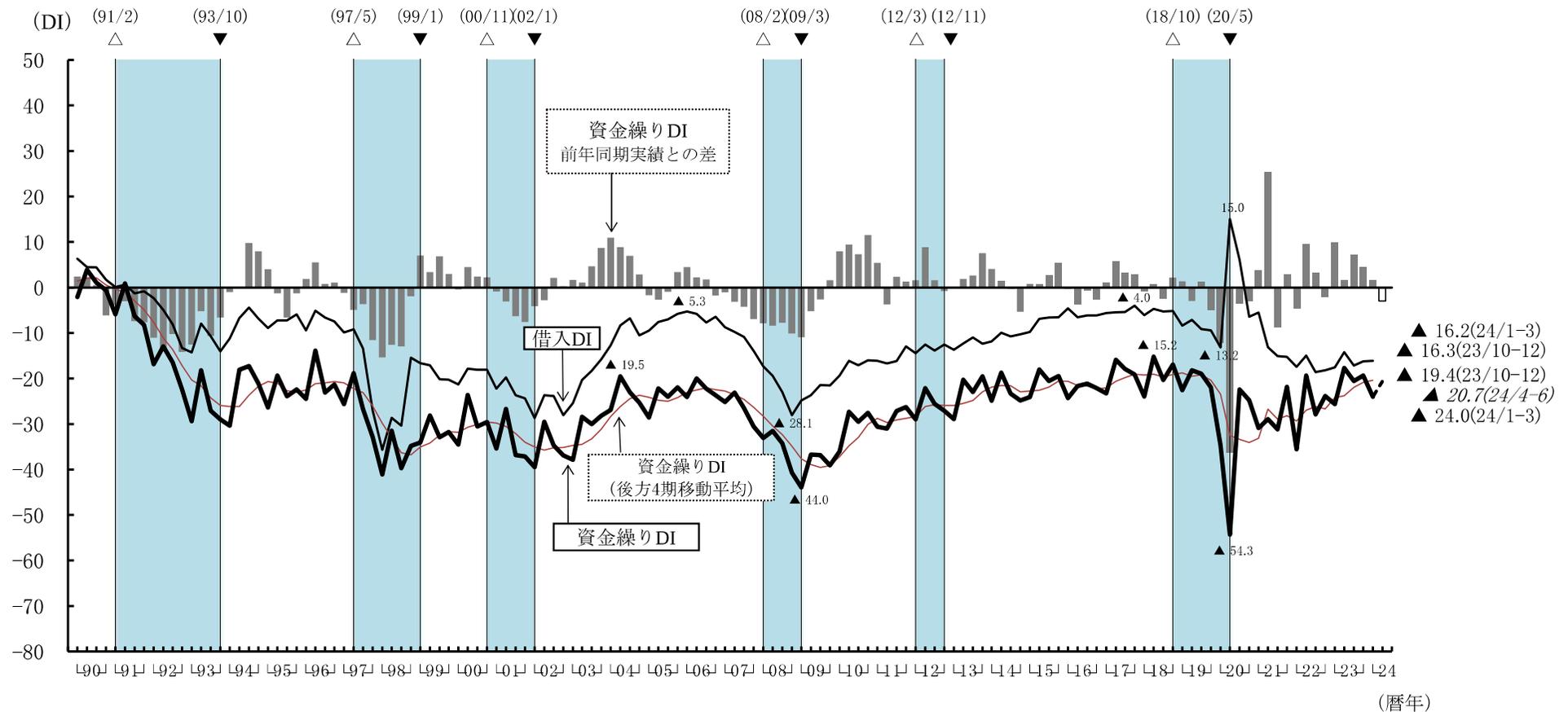
図－5 採算DIの推移（全業種計）



4 資金繰り、借入

- 今期の資金繰りDI（全業種計）は、前期からマイナス幅が4.6ポイント拡大し、▲24.0となった。来期は、マイナス幅が縮小する見通しである。
- 民間金融機関からの借入状況（全業種計）をみると、今期の借入DIは、前期からほぼ横ばいの▲16.2となった。

図－6 資金繰りDI、借入DIの推移（全業種計）



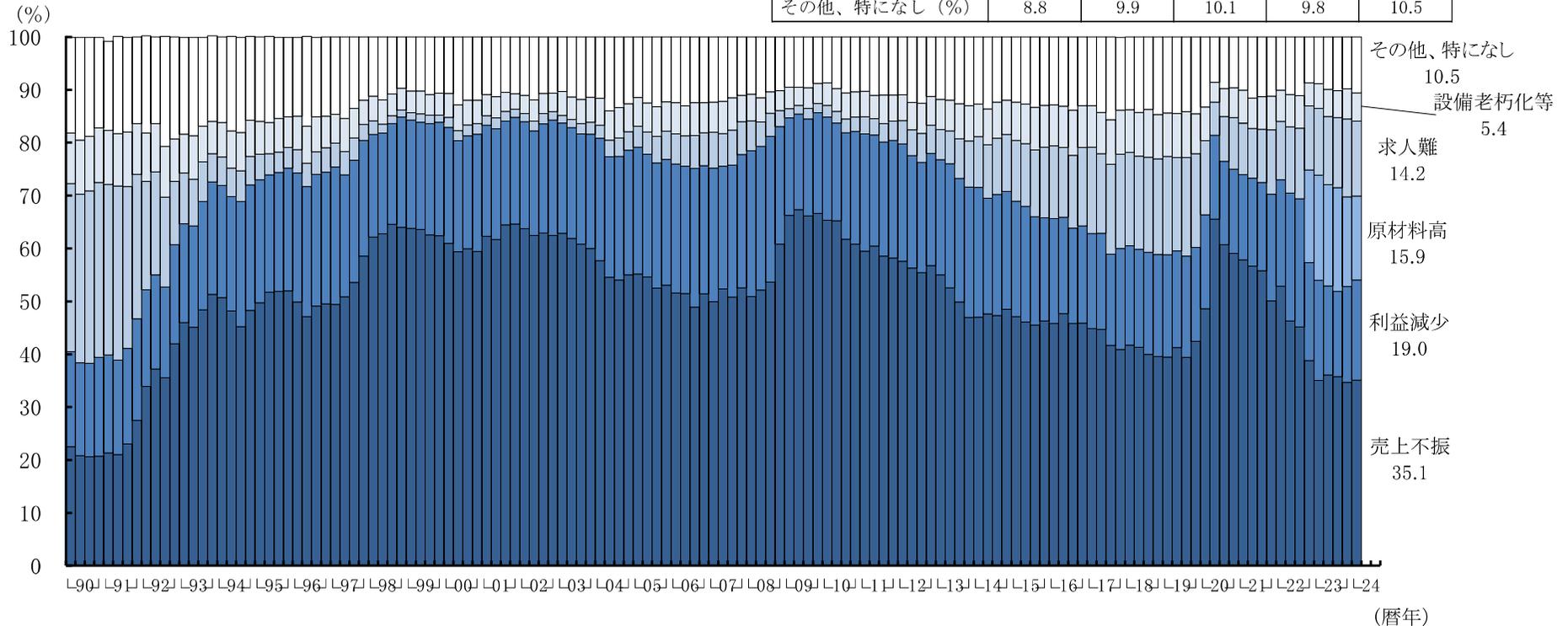
- (注) 1 資金繰りDIは、前期比で「好転」と回答した企業割合から「悪化」と回答した企業割合を差し引いた値。
 2 借入DIは、前期比で「容易になった」と回答した企業割合から「難しくなった」と回答した企業割合を差し引いた値。
 3 ——— は実績、 - - - - - は見通し。斜体は見通しの値を示している。
 4 白抜き部分は見通しと前年同期実績との差。

5 経営上の問題点

- 当面の経営上の問題点（全業種計）をみると、「売上不振」が35.1%と最も多く、次いで、「利益減少」（19.0%）、「原材料高」（15.9%）の順となっている。

図－7 経営上の問題点の推移（全業種計）

	23.1-3	4-6	7-9	10-12	24.1-3
売上不振 (%)	35.0	36.1	35.8	34.7	35.1
利益減少 (%)	18.9	16.8	16.1	18.1	19.0
原材料高 (%)	19.9	19.2	19.6	17.0	15.9
求人難 (%)	12.6	12.9	13.2	14.7	14.2
設備老朽化等 (%)	4.7	5.2	5.1	5.8	5.4
その他、特になし (%)	8.8	9.9	10.1	9.8	10.5

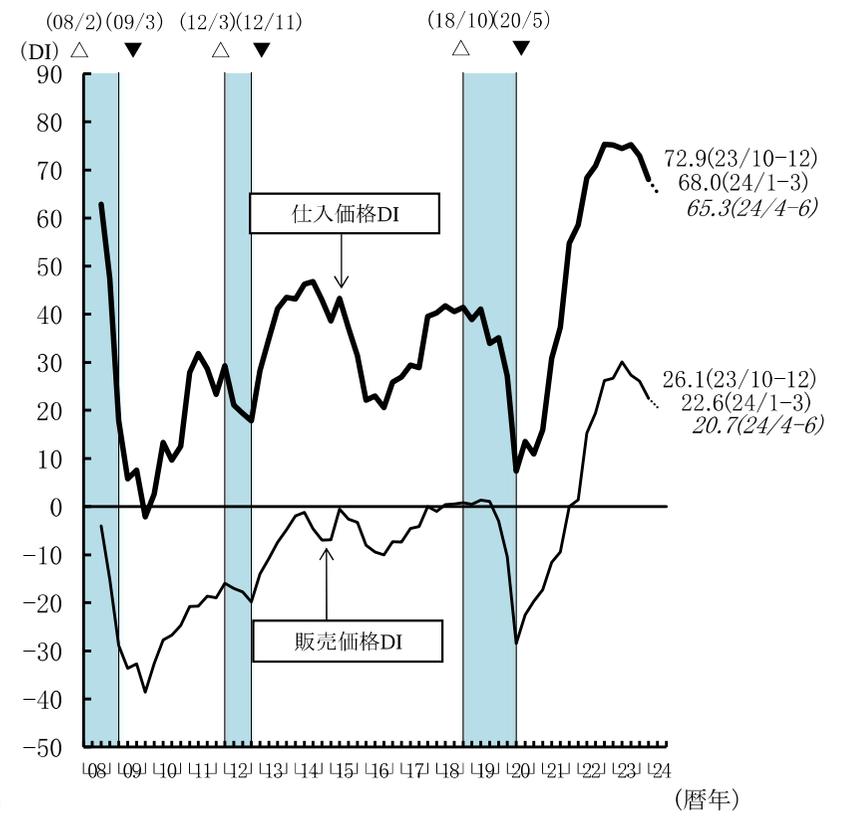
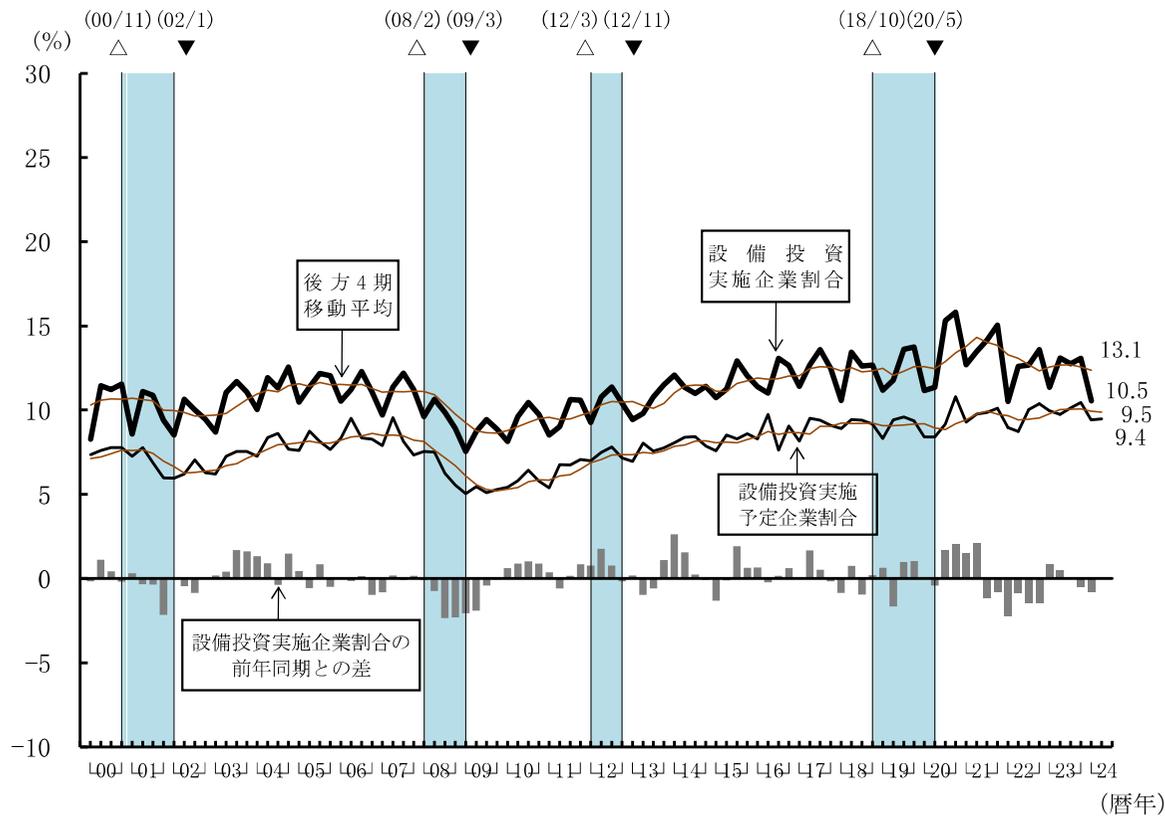


- (注) 1 2022年10-12月期に「原材料高」を追加した。
 2 「その他、特になし」は、「代金回収条件の悪化」「代金支払条件の悪化」「借入難」「その他」「特に問題なし」を合計したものの。
 3 小数第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。

6 設備投資、価格動向

- 今期の設備投資実施企業割合（全業種計）は、前期から2.6ポイント低下し、10.5%となった。
- 今期の販売価格DI（全業種計）は、3.5ポイント低下し、22.6となった。来期も低下する見通しである。
- 今期の仕入価格DI（全業種計）は、4.9ポイント低下し、68.0となった。来期も低下する見通しである。

図－8 設備投資実施企業、実施予定企業割合の推移（全業種計） 図－9 販売価格DI、仕入価格DIの推移（全業種計）



- (注) 1 DIは、前年同期比で「上昇」と回答した企業割合から「低下」と回答した企業割合を差し引いた値。
 2 ——— は実績、----- は見通し。斜体は見通しの値を示している。
 3 2008年7-9月期から調査を実施。

中 小 企 業 編

(2024年1-3月期実績、2024年4-6月期および7-9月期見通し)

中小企業の景況は、持ち直しの動きがみられる

[調査の実施要領]

調 査 時 点	2024年3月中旬
調 査 対 象	当公庫取引先（原則従業員20人以上）12,080社
有 効 回 答 数	4,551 社 [回答率 37.7 %]

<業 種 構 成>

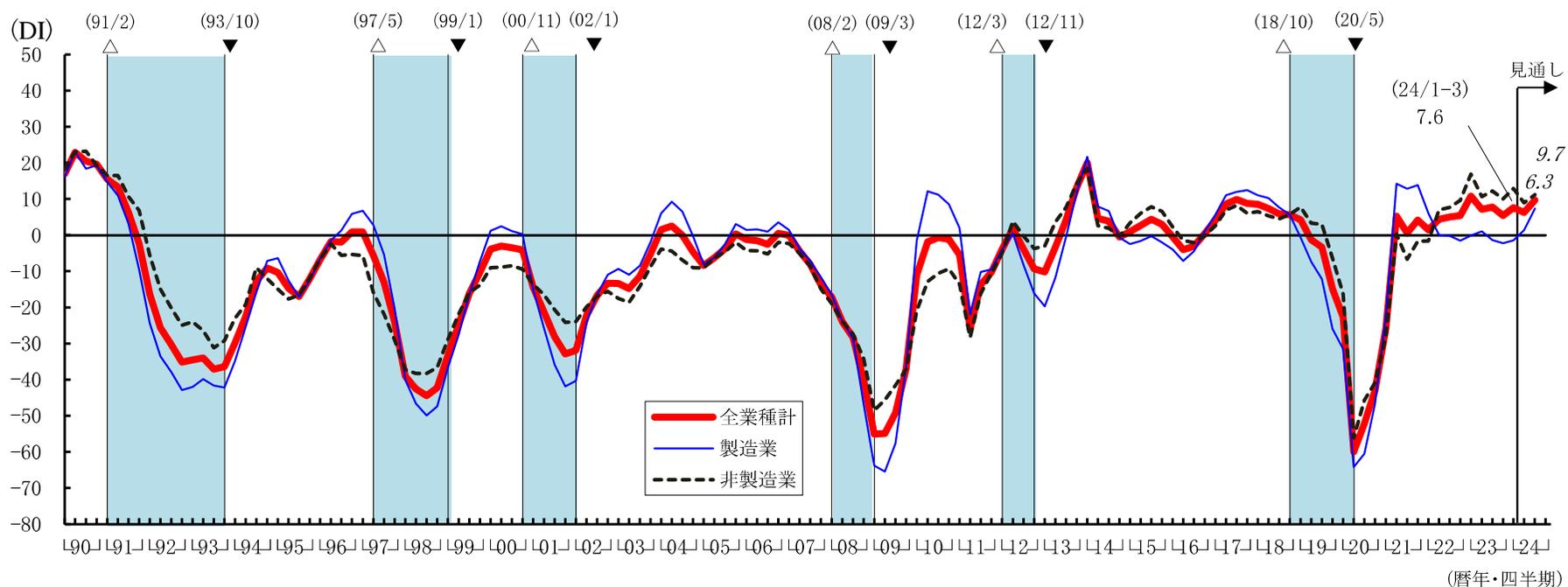
	調 査 対 象	有 効 回 答 数		
製 造 業	4,107 社	1,722 社	(構成比	37.8 %)
鉱 業	12 社	4 社	(同	0.1 %)
建 設 業	1,090 社	434 社	(同	9.5 %)
運送業(除水運)	777 社	313 社	(同	6.9 %)
水 運 業	151 社	63 社	(同	1.4 %)
倉 庫 業	46 社	25 社	(同	0.5 %)
情 報 通 信 業	337 社	102 社	(同	2.2 %)
ガ ス 供 給 業	10 社	8 社	(同	0.2 %)
不 動 産 業	715 社	250 社	(同	5.5 %)
宿泊・飲食サービス業	721 社	201 社	(同	4.4 %)
卸 売 業	1,697 社	647 社	(同	14.2 %)
小 売 業	872 社	273 社	(同	6.0 %)
サ ー ビ ス 業	1,545 社	509 社	(同	11.2 %)

1 業況判断

- 今期（2024年1－3月期）の業況判断DIは、前期（2023年10－12月期）から2.2ポイント上昇し、7.6となった。
- 来期（2024年4－6月期）は6.3と低下し、来々期（2024年7－9月期）は9.7となる見通しである。

図－1 業況判断DIの推移（季節調整値）

	2023/1-3	2023/4-6	2023/7-9	2023/10-12	2024/1-3 (前回見通し)	2024/4-6 (前回見通し)	2024/7-9
業況判断DI (季節調整値)	10.8	7.1	7.7	5.4	7.6 (5.3)	6.3 (6.5)	9.7
製 造 業	▲ 0.1	1.1	▲ 1.3	▲ 2.2	▲ 1.5 (▲ 1.1)	1.4 (3.7)	7.4
非 製 造 業	16.9	10.6	12.2	10.0	12.9 (8.2)	8.9 (7.8)	11.2



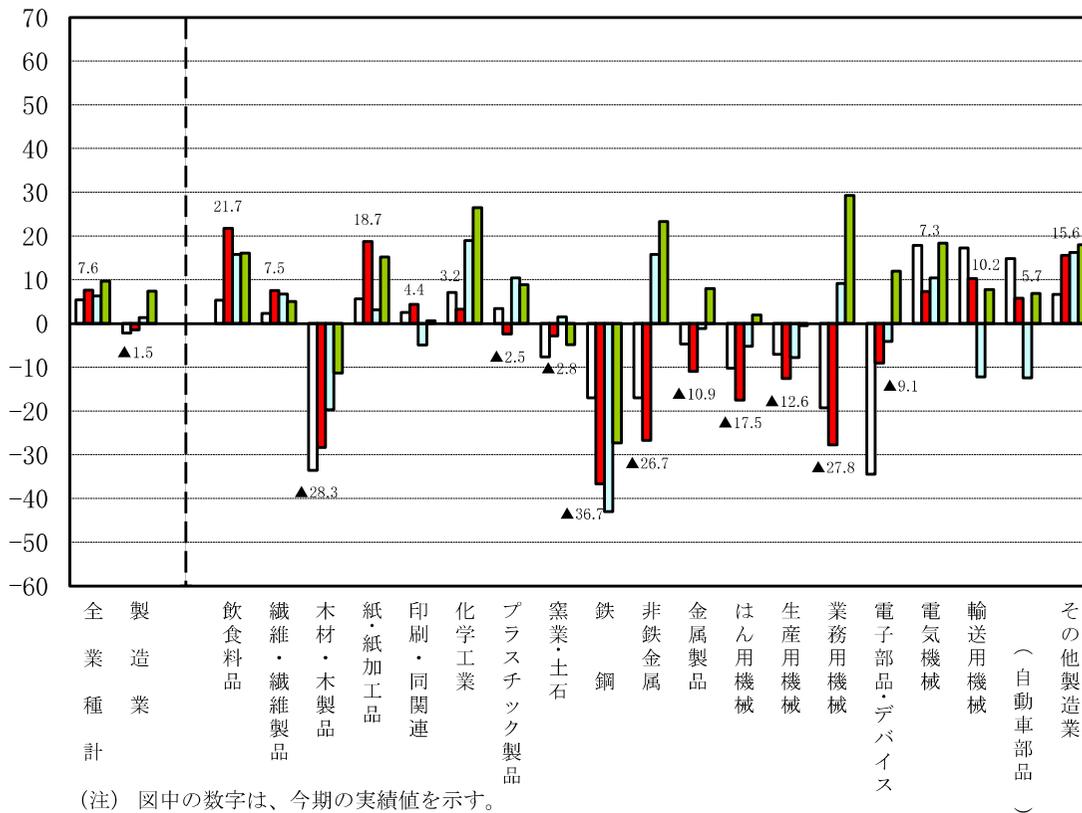
(注) 1 業況判断DIは、調査対象企業の業況が前年同期比で「好転」と回答した企業割合から「悪化」と回答した企業割合を差し引いた値（季節調整値）。
 2 図中の数字は全業種計の値。斜体は見通しの値を示す。

- 今期の業況判断DIを業種別にみると、製造業は、電子部品・デバイス、飲食料品、紙・紙加工品等が上昇した。一方、鉄鋼、電気機械、非鉄金属等は低下した。
- 非製造業は、宿泊・飲食サービス業、サービス業、運送業（除水運）等が上昇した。

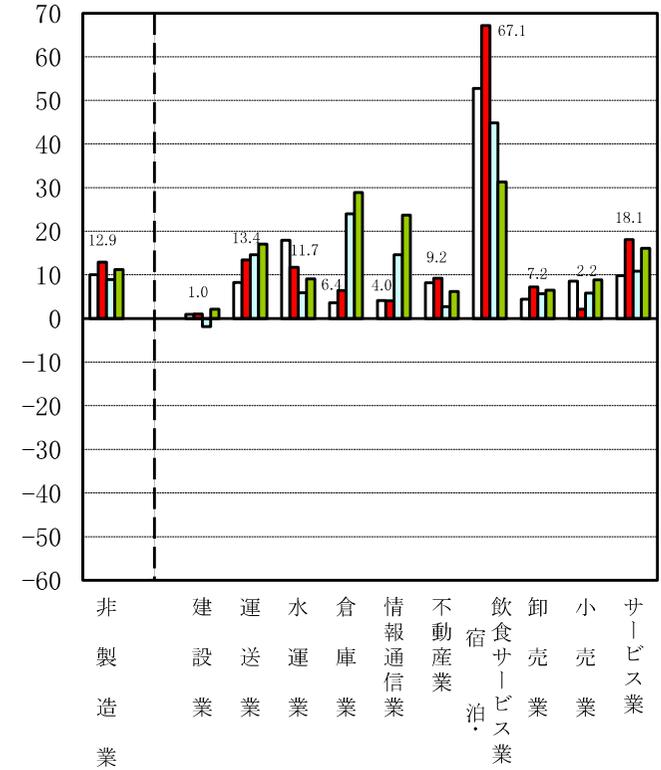
図－2 業種別業況判断DIの推移（季節調整値）



－製造業－
(DI)

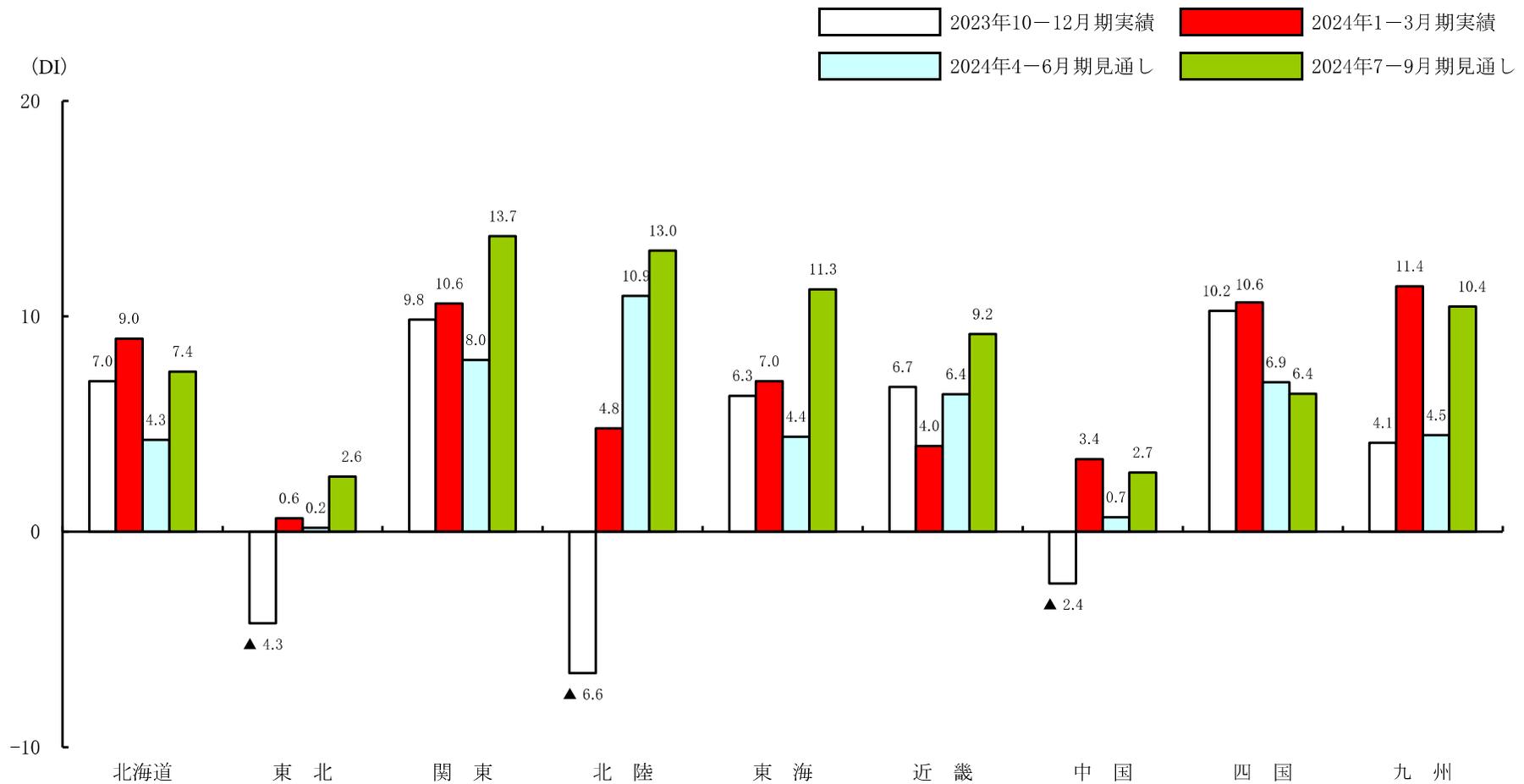


－非製造業－
(DI)



- 業況判断DIを地域別にみると、今期は近畿以外の8地域で上昇した。
- 来期は、北陸、近畿の2地域で上昇する見通しである。

図－3 地域別業況判断DI（季節調整値）

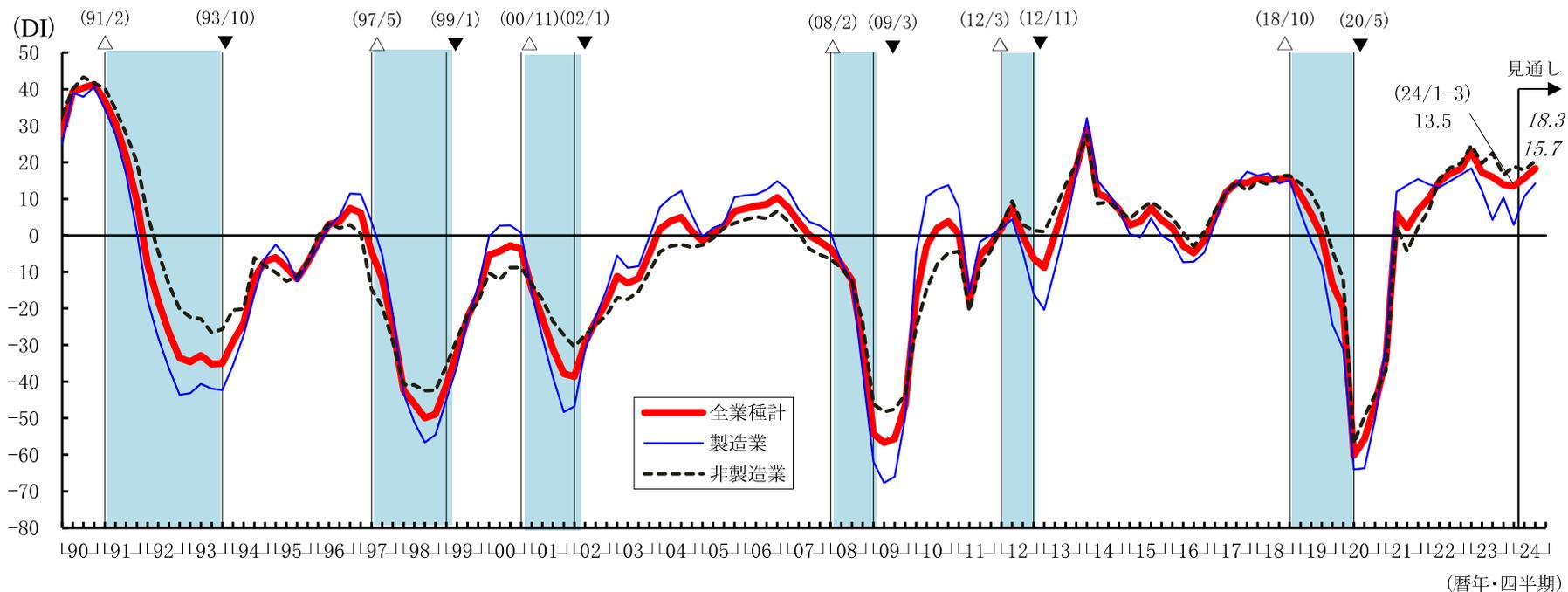


2 売上

- 今期の売上DIは、前期からほぼ横ばいで推移し、13.5となった。
- 来期は15.7と上昇し、来々期は18.3となる見通しである。

図ー4 売上DIの推移（季節調整値）

	2023/1-3	2023/4-6	2023/7-9	2023/10-12	2024/1-3 (前回見通し)	2024/4-6 (前回見通し)	2024/7-9
売上DI (季節調整値)	23.0	17.2	15.9	13.9	13.5 (14.6)	15.7 (15.2)	18.3
製 造 業	18.4	12.2	4.2	10.3	2.9 (10.5)	10.6 (14.8)	14.2
非 製 造 業	24.6	19.8	22.5	16.5	18.9 (17.5)	17.8 (15.7)	20.4



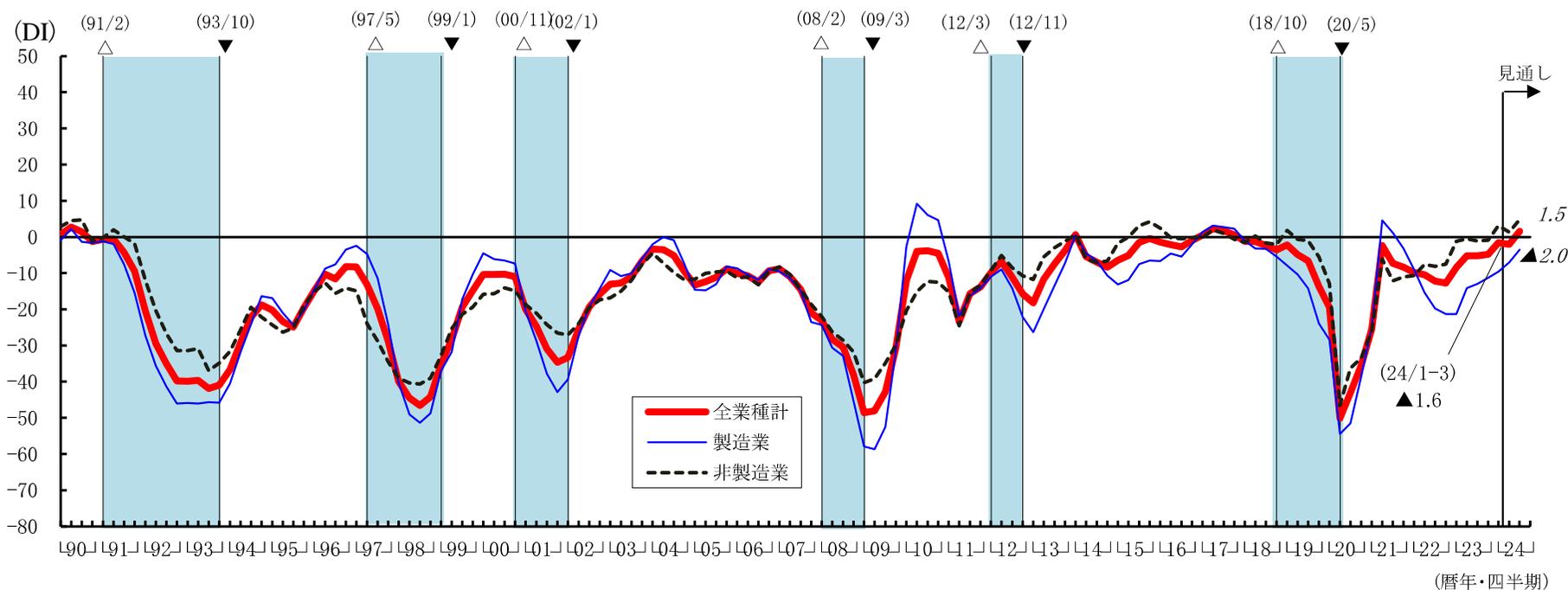
- (注) 1 売上DIは、前年同期比で「増加」企業割合－「減少」企業割合（季節調整値）。
 2 図中の数字は全業種計の値。斜体は見通しの値を示す。

3 利益

- 今期の純益率DIは、前期からマイナス幅が3.2ポイント縮小し、▲1.6となった。
- 来期は▲2.0とほぼ横ばいで推移し、来々期は1.5となる見通しである。

図ー5 純益率DIの推移（季節調整値）

	2023/1-3	2023/4-6	2023/7-9	2023/10-12	2024/1-3 (前回見通し)	2024/4-6 (前回見通し)	2024/7-9
純益率DI (季節調整値)	▲ 8.4	▲ 5.2	▲ 5.2	▲ 4.8	▲ 1.6 (▲ 3.0)	▲ 2.0 (▲ 2.4)	1.5
製 造 業	▲ 21.3	▲ 14.2	▲ 13.0	▲ 11.3	▲ 9.6 (▲ 8.4)	▲ 7.1 (▲ 5.1)	▲ 3.5
非 製 造 業	▲ 1.2	▲ 0.5	▲ 1.1	▲ 0.9	3.1 (▲ 0.2)	1.3 (▲ 1.1)	4.8



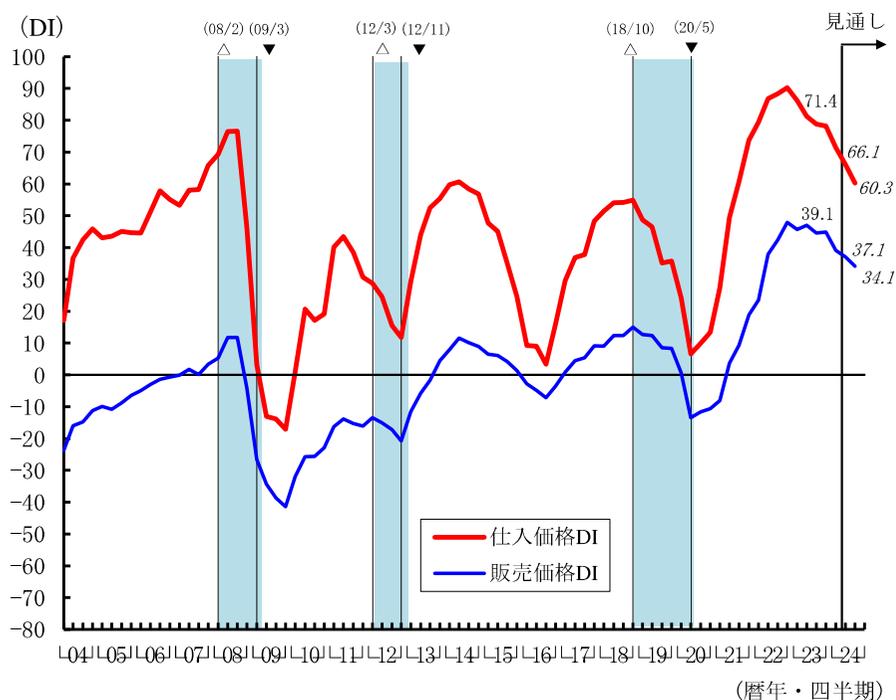
(注) 1 純益率DIは、前年同期比で「上昇」企業割合－「低下」企業割合（季節調整値）。
 2 図中の数字は全業種計の値。斜体は見通しの値を示す。

4 価格、金融関連

- 今期の販売価格DIは、前期から5.8ポイント低下し、39.1となった。仕入価格DIは前期から6.8ポイント低下し、71.4となった。来期の販売価格DI、仕入価格DIは、ともに低下する見通しである。
- 今期の資金繰りDIは、前期から1.6ポイント上昇し、2.4となった。長期借入難易DIと短期借入難易DIは、ともに前期からほぼ横ばいで推移した。

図－6 価格関連DIの推移（原数値）

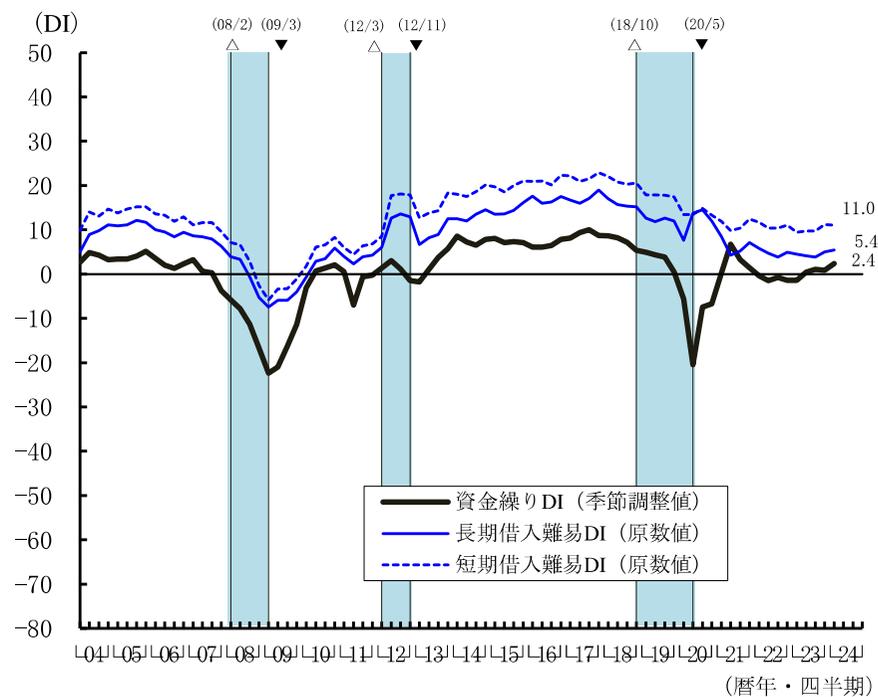
	2023/1-3	2023/4-6	2023/7-9	2023/10-12	2024/1-3	2024/4-6	2024/7-9
販売価格DI	45.7	47.0	44.6	44.9	39.1	37.1	34.1
仕入価格DI	86.2	81.2	78.8	78.2	71.4	66.1	60.3



- (注) 1 仕入価格DI、販売価格DIともに前年同期比で「上昇」企業割合－「低下」企業割合（原数値）。
2 図中の数字は今期実績および見通し（斜体）の値を示す。

図－7 金融関連DIの推移

	2023/1-3	2023/4-6	2023/7-9	2023/10-12	2024/1-3
資金繰りDI（季節調整値）	▲1.4	0.4	1.1	0.8	2.4
長期借入難易DI（原数値）	4.5	4.1	3.8	5.0	5.4
短期借入難易DI（原数値）	9.4	9.7	9.7	11.2	11.0



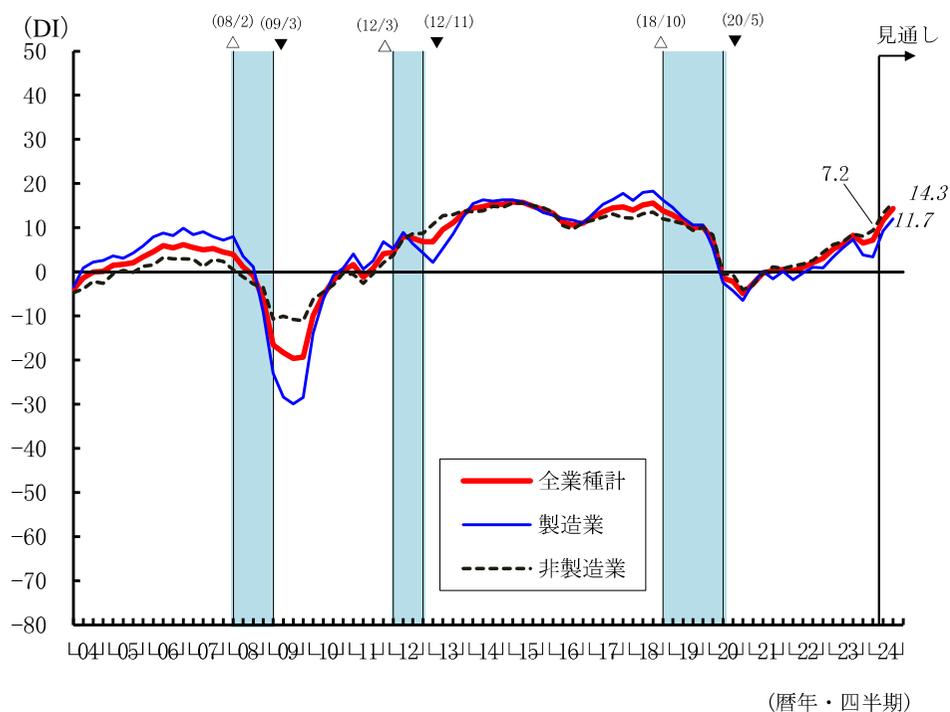
- (注) 1 資金繰りDIは、前年同期比で「好転」企業割合－「悪化」企業割合（季節調整値）。
2 借入難易DIは、前年同期比で「容易」企業割合－「困難」企業割合（原数値）。
3 図中の数字は今期の実績値を示す。

5 雇用、設備

- 今期の従業員DIは、前期から0.7ポイント上昇し、7.2となった。来期は上昇する見通しである。
- 今期の設備投資実施企業割合は、前期から1.2ポイント上昇し、38.0%となった。

図－8 従業員DIの推移（季節調整値）

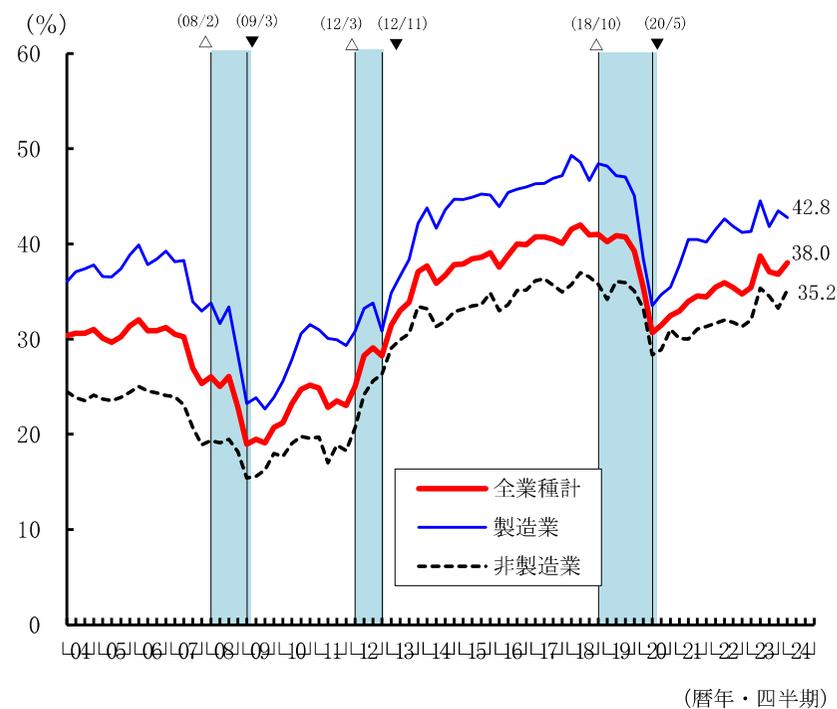
	2023/1-3	2023/4-6	2023/7-9	2023/10-12	2024/1-3	2024/4-6	2024/7-9
全業種計	5.1	6.3	8.3	6.5	7.2	11.7	14.3
製造業	3.3	5.4	7.3	3.8	3.4	9.3	12.0
非製造業	6.1	6.8	8.6	8.1	9.3	13.2	15.8



(注) 1 従業員DIは、前年同期比で「増加」企業割合－「減少」企業割合（季節調整値）。
2 図中の数字は全業種計の値。斜体は見通しの値を示す。

図－9 設備投資実施企業割合の推移（季節調整値）

	2023/1-3	2023/4-6	2023/7-9	2023/10-12	2024/1-3
全業種計	35.4	38.7	37.1	36.8	38.0
製造業	41.3	44.5	41.8	43.5	42.8
非製造業	32.0	35.3	34.5	33.3	35.2



(注) 図中の数字は今期の実績値を示す。

6 経営上の問題点

- 当面の経営上の問題点をみると、「売上・受注の停滞、減少」が30.1%と最も多く、次いで、「求人難」(28.1%)、「原材料高」(18.2%)となっている。
- 前回調査と比べると、「求人難」は2.3ポイント上昇した。「原材料高」は3.8ポイント低下した。

図-10 経営上の問題点の推移

